

保護者 様

平成28年 3月 2日

光市立周防小学校  
校長 大久保 敏 昭

## 平成27年度後期教育活動に関するアンケートの集計結果について

早春の侯、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、1月に実施しました周防小学校の後期の教育活動に関するアンケートにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今年度も学校教育目標「**意欲的に学び、共によりよく生きる子どもの育成～生き方を深め、すてきな大人に育つ～**」の重点目標について、児童・保護者・教職員がほぼ同じ項目でアンケートを実施しました。

つきましては、アンケートの集計結果と**集計結果に基づき、今後さらに学校と家庭が連携して取り組んでいきたい事項**をお知らせしますので、一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 1 体力向上と基本的生活習慣の改善

アンケート結果では、「早ね早おき朝ごはん」の習慣化について、児童は**96%**（前期 93%）、保護者**81%**（同 78%）が「身につけている」と回答いただきました。しかし、「早ね・早おき・朝ごはんパスポート」でのめあての達成状況は、**5月、9月、1月とも71%**となっており、停滞しています。今後とも、パスポートを中心に子どもたちの生活習慣の形成に努めていきたいと思っておりますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

一方、本校の子どもたちは、家庭での過ごし方、特に**テレビやゲームに費やす時間が長い**ことが課題になっています。**（目標達成率9月29%、1月42%）**ご家庭でもテレビやゲームの時間の見直しやルールづくりなど、宿題ができなかったり生活習慣の乱れにつながったしないような環境づくりや働きかけをお願いいたします。



### 2 算数科の基礎学力向上と伝え合う力を高める学級集団づくり

「国語・算数の勉強がだいたいわかる」と回答した児童は**95%**（前期 89%）、「国語・算数の基礎的な学力が身に付いている」と回答した保護者は**75%**（同 77%）です。子どもたちは学校では落ち着いた態度で学習に取り組んでいますが、家庭学習ができない子どもたちが固定化し、学習の定着が十分できていない子がいます。保護者の方の声かけや課題ができていないかの確認を今一度お願いいたします。

一方、学年に応じた家庭学習が「できている」と答えた児童**98%**（前期 93%）、保護者**74%**（同 73%）でした。その中で、**家庭での読書活動や宿題以外の自主勉強（保護者の肯定評価；読書51%、自主勉強47%）**などまだまだ十分に組み合わせていません。音読・漢字の読み書き、計算などの基礎的な学習は、家庭学習でのくり返し練習で定着するものです。テレビやゲームの時間の見直しと合わせ、家庭での学習習慣が小学生の段階で確実に身に付くよう今後ともご配慮をお願いいたします。



### 3 コミュニケーション能力の育成とあいさつの瞬発力形成

「あいさつを自分から進んでしている」と回答した子どもは**99%**（前期 95%）、保護者**78%**（同 78%）でした。学校で教師に対しては、大きな声であいさつができる子どもが増えています。それが地域に帰ったときにできているかどうか課題が残ります。ご家庭でも子どもたちのあいさつの様子を実際に確認していただけたらと思います。そして、何より大人が子どもたちの手本となるべく、家庭の中であいさつが交わされることが、子どもたちにあいさつの習慣が身に付く一番の方策だと考えます。基本的な生活習慣を担うのは家庭です。



**子どもたちは、家庭、学校、そして地域の方に見守られながら日々成長しています。それぞれの役割を確実に果たしていくことが、子どもたちの健全な成長には欠かせません。今後とも、家庭、学校、地域が手を取り合っていきましょう。ご協力、よろしくお願いいたします。**